

☆昔は曲詰の創作と古図式研究に熱中
最近ではデータベースと出版に熱中。

門脇 芳雄

「棒銀」

持駒 飛桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				馬				歩
						馬	馬	
					と	桂		王
				角		角	馬	桂
								金

(「2001」 昭和59年4月号)

2四金、同玉、2五銀、1三玉、
1二飛、同歩、同角成、同玉、
22桂成、同玉、㊤1四桂、1二玉、
1三步、同玉、24銀打、1二玉、
22桂成、同玉、3二と、同銀、
23銀打、1二玉、21桂成、同銀、
同角成、同玉、22銀打迄27手詰。

☆昭和59年頃「2001」と言う週刊誌の様な月刊娯楽誌が発行されていて、2年間その詰将棋欄を担当しました。毎月半頁に軽い文章と詰将棋を載せるのですが、大衆相手だから簡単だろうと引き受けましたらすぐにテーマのタネが無くなって閉口しました。

本題はその欄に「棒銀」と称して発表した作品で詰上り四銀が一本棒になる曲詰です。この四銀は最初すべて玉方の銀だったもので、一枚も不動駒がないのが自慢です。

図上り詰

4	3	2	1
		王	
		銀	
		銀	
		銀	
		銀	

手順の大部分は強引な駒捌きですが、11手目の㊤1四桂は普通なら3四桂と打つところですが、それだと1一玉以下その3四桂が角利きの邪魔をするので、1四桂と非能率な方から打つ

のがちよつとしゃれた手と自画自賛しています。

本題の完成に気を良くしてその後四金・四桂・四香詰なども作りました。

①昭和9年1月9日。②川崎市中原区木月住吉町。③年金生活(元、古河電工勤務)。④安井上夫、歩桂棋人、芳桂生。⑤詰棋界昭和26年第2号。⑥約150題。⑦弱い初段。⑧『詰むや詰まざるや』と『同・続篇』『曲詰百歌仙』など10冊ぐらい。⑨伊藤看寿。⑩最近の凝った作品の構想はどこまで進歩するのかソラ恐ろしい。⑪囲碁、音楽、読書、ゲートボール、一杯。

